

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

- ・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

氏名(フリガナ)

所属施設名

職種

看護師

研修を受けた施設

秋田大学医学部附属病院

研修日

研修参加の動機・目的

- \* 当病院より転院してくる患者がどのように意思決定やプロセスを辿ってくるのか知りたかったため。
- \* 鎮静の方針となる患者・家族への意思決定支援やカンファレンス等についての関わりをどのように行っているのか参考にしたかったため。

研修の実際(内容や流れ等)

- \* 緩和ケアセンターに関するオリエンテーション
- \* 緩和ケアチーム担当看護師からのオリエンテーション
- \* 緩和ケアチーム回診への同行、見学
- \* 緩和ケアチームカンファレンスの見学

研修を終えての感想(気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等)

緩和ケアチームとして医師と認定看護師が主体となり、他職種と連携を図りながら、主治医からの依頼を受け専門的支援を行っていることが分かった。特に印象的だったのが、忙しい中限られた時間内で回診しなければならない状況であると感じられたが、医師も看護師も個々の患者と向き合い、しっかりとコミュニケーションを図り状態を確認していた。

また、病棟の看護師とも情報交換・共有を行い、緩和ケアに関連した困難な問題を解決できるようアドバイスを行っていたり、その患者の状態や問題に合わせ介入レベルを変えて関わっていることが個別性のある関わりや支援に繋がっていると感じた。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

氏名(フリガナ)

所属施設名

職種

看護師

研修を受けた施設

秋田往診クリニック

研修日

研修参加の動機・目的

退院支援部門に勤務しており、終末期の方が自宅に退院する事例が時々あり、在宅での緩和医療について興味があったから

研修の実際(内容や流れ等)

午前中に数件往診に同行

研修を終えての感想(院と、学んだこと、有益だったこと等)

何件か往診に同行させていただいたが、一番印象に残ったケースが、退院後初回の往診に入ったケースだ。往診の先生・薬局の先生・ケアマネ・訪問看護が一同に集まり、利用者宅はすし詰め状態。Dr から家族へわかりやすい言葉での病状説明の後、最終的な意思確認と書類へのサインを家族から頂く、診察後すぐに麻薬の量を変更し、いつから増量するかの段取り。病院内ではあまり見ることのない光景に正直驚いた。わかりやすい言葉で説明し、本人・家族の希望に真摯に向き合い、苦痛を緩和し、その人が自宅でその人らしく生活するための医療を提供していると感じた。何より、患者・家族が主役で、医療は寄り添い支える存在で脇役であると感じた。病院にいれば、どうしても医療者が主役になる場面が非常に多く、在宅医療を初めて体験する事で、本当は病院でも主役は患者であることに改めて気づかされた。また、上記経験について驚いた旨、往診の先生にお伝えしたところ「やれる人がやればいい」という言葉を頂いた。在宅という限られた資源や環境の中で、患者・家族を主役にするために、安楽な医療を提供するという覚悟を感じた。日頃、退院支援看護師として終末期の患者さんの在宅退院に携わるケースもあるが、実際の場面を見ることで、退院後の生活がよりイメージできるようになった。半日という短い時間ではあったが、院内では決して経験することが出来ない体験でき、自分の看護人生の中でも貴重な体験ができたと感じた。

実習に協力いただいた施設・関係者には大変お世話になりました。貴重な体験ありがとうございました。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

氏名(フリガナ)

所属施設名

職種

薬剤師

研修を受けた施設(複数ある場合は1施設1シートでお願いします)

秋田往診クリニック

研修日

研修参加の動機・目的

当薬局でも在宅患者への訪問薬剤管理指導を行なっているが、癌末期などの重症患者のケースは少ない。今後、当薬局を選んで頂いた患者がどんな状態であっても受け入れることができるように、ターミナルケア、緩和ケアを学ぶため。

研修の実際(内容や流れ等)

9:00-9:30 カンファレンス

9:30-12:00 訪問診療

12:00-12:30 質疑応答

研修を終えての感想(気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等)

・往診の時間・スピードが早い事

当薬局でも Dr.の往診に同行させていただく機会があるが、自分が経験していた往診よりも訪問時間が短くスピーディだった事。訪問前にカンファレンスを行い情報共有・問題共有を行っていた事と、事前に多職種から情報収集を行ったり、患者家族、施設職員に聞き取りを行なっているため。訪問・往診時間の長さと患者満足度は異なる。

・患者の状態ごとの対応

研修日はインフルエンザの予防接種を行う日だった。自分の知識では皮下注射は痛みを軽減するため、ゆっくりと注入するという認識だったが、実際には針を刺してから時間をかけずに薬液を注入していた。N'sの説明によると、注射針を刺している事自体が苦痛である場合だったり、高齢者は若年者に比べて筋肉や脂肪が少なく痛みを感じにくい事、また、覚醒状態や痛み刺激への反応の程度によって、薬液をゆっくり入れたり、寝ている間に速やかに注入したりと臨機応変に対応すること。また、声がけや触れることで患者に安心感を与える対応が必要。

・基幹病院の在宅支援外来で診察を行ったり、退院時カンファレンスへの参加

退院前より患者と関わることで、シームレスなケアができ、患者の安心感にも繋がる。さらに、在宅医療の認知も高めることができ、人生の最終段階における医療の選択の幅が広がる。

・眼科、歯科、整形外科などの専門医による往診

1W 毎や 2W 毎に専門科の Dr.が非常勤で勤務。必要であれば専門の Dr.に診察してもらえるというのは、基幹病院に遜色無い。

・薬剤師の役割(残薬調整、処方提案)

薬の専門家としての役割。薬にフォーカスして意見ができるのは薬剤師のみ。患者、Dr.、他職種に信頼される有益な提案ができるようにならなければいけない。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・**まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」**をお示しください  
(**実名を可とする** / 匿名を希望する) いずれかに

---

## 氏名（フリガナ）

林 次男（ハヤシ ツギオ）

## 所属施設名

大潟村特別養護老人ホームひだまり苑

## 職種

事務

## 研修を受けた施設（複数ある場合は1施設1シートでお願いします）

訪問看護ステーションあきた

## 研修日

令和元年9月26日

## 研修参加の動機・目的

当施設でも見取りを行っているため、参考目的にて。

## 研修の実際（内容や流れ等）

在宅における援助（バイタル、たん吸引、呼吸器管理のほか家族に行われるレスパイト）

## 研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等）

ALSの終末期を、在宅で生活をされている方であり、自分自身そのような形で療養されているのを見るのが初めてであったため新鮮に感じられた。特にすべての援助について説明と同意を得て実施されていることについては改めて尊重されていると感じられた。また複数事業所で円滑にケアがなされていることに気づかされた。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする) / 匿名を希望する) いずれかに

## 氏名（フリガナ）

虻川 桂子（アブカワ ケイコ）

## 所属施設名

大曲厚生医療センター

## 職種

看護師

## 研修を受けた施設（複数ある場合は1施設1シートでお願いします）

外旭川病院

## 研修日

令和元年 11 月 20 日

## 研修参加の動機・目的

緩和ケア病棟のケアの実践方法やボランティアの在り方について学ぶことを目的とした

## 研修の実際（内容や流れ 等）

8:30 申し送りの見学

9:30 清拭のケアを通しながら、コミュニケーション方法を学ぶ

11:00 病棟の運営について

カンファレンスについて

看取りの在り方について

12:30 昼食

13:30 カンファレンス

14:30 ボランティアの方から説明 ボランティアとは 日々の運営について

15:30 まとめ

16:00 終了

## 研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと 等）

緩和ケア病棟の時間の流れがゆっくりと穏やかに流れており、医療者側も丁寧にケアをしている様子が伝わってきました。一人一人の患者さんの思いを尊重することがどうということなのか再度振り返ることが出来ました。また、患者さんの生活スタイルを大切に、家族の思いも一緒に取り入れ、家族ケアも大切にしていることを学びました。

昨今は、様々な生活スタイル、家族背景があり、困難事例も多く、看護師の創意工夫がケアの中には必要です。患者さん、家族の要望が多様であり、対応に難渋することも多くあります。しかし、緩和ケアは、痛みやつらさを緩和し、そっと寄り添うケアを忘れず実践あるのみと考えます。そして、医療者自身のケアも忘れず、息抜きをしながら楽しく働くことが本当に必要であると思いました。看護師は、真面目に根をつめてしまうところがあります。しかし、緩和ケアの実践の中では、笑いが必要な場面も沢山あります。笑いをケアの中に生かすことが出来るような看護師であれば、仕事も楽しく行うことが出来るのではないかと思います。看護師の思いが、患者さんに伝わっていくことで、信頼関係も構築しやすく、寄り添うケアに近づけると思います。外旭川病院の実践でも、楽しくケア実践している様子を垣間見ることが出来ました。

今後も、緩和ケアの実践方法を楽しんで模索していきたいと思います。お忙しいなか、実習を受け入れて頂きありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

-----  
氏名（フリガナ）

所属施設名

職種  
看護師

研修を受けた施設  
外旭川病院

研修日

研修参加の動機・目的

ホスピスとはどのような施設なのか実際自分の目で見て感じたいと思い参加

研修の実際（内容や流れ 等）

ホスピスについて説明（身体的なケア、精神的なケア、ご家族に対するケアなど）。

実際の部屋や生活状況（ご本人の気持ちを尊重して支援していて、基本的には自由に生活ができる場所）。

ホスピス外来受診の流れや受診時ご本人やご家族に確認をしていることなど。

研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと 等）

病院で働いていると入院されている方は患者さんであって部屋は病室ですが、ホスピスでは病院でも自宅でも施設でもなくその方の部屋という感じがしました。医師、看護師、栄養士、ボランティアの方々など多くのスタッフがチームとなってその方やご家族をサポートしていることが印象的でした。万人が必ずおとずれる死ですが、穏やかに残された時間をゆっくりと過ごすだけでなく、その方や周りの方々に寄り添う姿勢が大変勉強になりました。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

- ・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

-----  
氏名（フリガナ）

## 所属施設名

池田薬局 中通り店

## 職種

薬剤師

## 研修を受けた施設（複数ある場合は1施設1シートでお願いします）

外旭川病院

## 研修日

## 研修参加の動機・目的

自身が病院勤務の経験がないため、院内のチーム連携を学ぶため。ホスピスにおけるターミナルケアを学ぶため。調剤薬局に勤務していると、患者の状態が急変して入院・入所となり突然関わりが終了することが度々ある。入院・入所後も情報提供等、途切れなくサービス・医療が提供できるような連携について学ぶため。

## 研修の実際（内容や流れ等）

- 9:00 9:30 申し送り 朝のカンファレンス見学
- 9:30 10:00 ホスピス病棟案内 概要説明 2階
- 10:00 12:30 ホスピス医の回診に同行
- 13:30 14:00 昼のカンファレンス見学
- 14:00 15:00 ボランティアコーディネーターのミニレクチャー
- 15:00 15:30 ホスピス外来の見学
- 15:30 16:00 意見交換

## 研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等）

### ・処方の違い

ブスコパンによる口腔内分泌抑制によって痰の抑制や、モルヒネ水による至適用量の設定など、院外処方ではまれ。向精神薬も普段扱う用量よりも圧倒的に高用量だった。処方される薬剤も特殊なことがあるため、病棟のみならず外来の処方も院内処方である。

### ・薬剤師の役割

新薬やホスピス領域以外のところでも幅広い知識を持ち、他の職種のサポートをすることが必要。入院時には「持参薬管理表」を作成し、処方内容と残薬の確認を行う。その際には、お薬手帳や薬剤情報提供文書が重要となるため、我々調剤薬局の薬剤師が患者の服用中の薬剤を把握し、誰にでもわかるように記載する必要がある。

また、病状が進むと経口摂取が困難になり点滴の投与となる。その場合にも、塩析などの配合変化に対する知識も必要。

### ・予後予測の重要性

ホスピスに紹介・転院になった時点で予後の説明が不十分な場合は少なくない。高Ca血症は癌患者に多く発現するが、その場合は予後1ヶ月以内と推測される。その場合、面会頻度が1週間に1回であれば、家族はあ

ご協力ありがとうございました。

と4回しか会えないことになる。下顎呼吸→チェーンストークス呼吸→早い呼吸となると2-3日の可能性。  
予後の説明、病状の説明に関しては、家族が受け入れられる状況が十分な配慮が必要。

#### ・ACP とホスピスの認知

ターミナルケアについて事前にしっかり話し合っておくことは重要なことだが、実際にはそれができていることはなかなか少ない。また、ホスピスについての誤ったイメージからか家族が希望しないケースが多い。そのため、「もっと早く来ていれば…」と感じるような、転院してきても予後数日といったケースも少なくない。

最後を迎え、自宅に戻る際に家族が「もっと早く来ていれば…」と口にする事も多い。

人生の最終段階の医療・ケアについて、偏りのない情報を提供し、最良の選択ができるように努めなければならぬと感じた。

#### ・ボランティアの存在

病棟には Dr.、N's、介護福祉士の他にもボランティアの方もいる。

整理整頓、お花や装飾などの環境づくりや、お茶や話し相手、買い物代行、洗濯代行など生活の支援、カラオケや演奏会などのレクリエーションなどを行う。年に1回は講習が行われ、病棟のカンファレンスにも参加する。

医療スタッフのみならずボランティアが加わることで、社会が形成される。

「良いホスピスの条件『多くのボランティアがいて、多くの行事が行われていること』」

#### ・いかに生きるかを考える

病棟に「生きる力」と書かれた書道が貼ってあった。それに衝撃を受けた。どうしてもターミナルケアは最後をどう過ごすか、どう亡くなっていくかを考えてしまう。しかし、患者は最後まで生きているのだから、どう生きるか、どうしたいか、どうなりたいかを考えることが必要。



# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

氏名(フリガナ)

所属施設名

職種

看護師

研修を受けた施設(複数ある場合は1施設1シートでお願いします)

外旭川病院

研修日

研修参加の動機・目的

緩和ケア病棟の環境やケアの実践を学び、今後の参考にしたい。チーム医療の現場を学ぶ。

研修の実際(内容や流れ等)

朝の申し送り、カンファレンスの見学。

患者様のケア(清拭、入浴介助、お誕生日会の参加)

病棟見学

お昼後のカンファレンスの見学

ボランティアの活動についての説明と物作りへの参加

研修を終えての感想(気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等)

カンファレンスの実際を見学し、多職種で行われていることで、スタッフ間で共通の情報共有ができ、患者様の対応がスムーズにできていると感じた。

また、患者様の生活の場を、家庭環境に近づけるようにサポートしているボランティアの活動、協力は医療職だけでは出来ない心遣いを感じた。

研修で学ばせて頂いたことを今後の看護に活かしていきたい。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

氏名(フリガナ)

所属施設名

職種

訪問介護

研修を受けた施設(複数ある場合は1施設1シートをお願いします)

外旭川病院

研修日

研修参加の動機・目的

昨年受けた人の話を聞いて受けてみたいと思った。

研修の実際(内容や流れ等)

朝のカンファレンス、特浴の見学、手足浴の見学、フロアの説明、ボランティアコーディネーターの方の話、  
秋の音楽祭の参加、外来受診診察の同席

研修を終えての感想(気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等)

少しずつ変わっていくご本人の体調や状態や気持ち、ご家族の気になっている事や希望など、細やかな部分まで  
医師、看護師、介護士、ボランティアコーディネーターと全員で情報を共有し、患者さんやご家族に寄り添ったケア  
をされていた。

このような体験をさせていただき、研修を受けてよかったです。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

- ・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

-----  
氏名(フリガナ)

所属施設名

職種

介護士

研修を受けた施設(複数ある場合は1施設1シートでお願いします)

外旭川病院

研修日

研修参加の動機・目的

緩和ケアに興味がある

研修の実際(内容や流れ等)

- ・回診見学
- ・カンファレンス見学
- ・入院してきた家族への今後の説明を見学
- ・ボランティア活動の見学、説明

研修を終えての感想(気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等)

- ・患者さんの痛みを緩和し、穏やかに最後をむかえられるよう各職種が連携をとり対応していた。

・家族への今後の予後説明はイラストやグラフを使い、分かり易く説明されていた。患者さんの意思、家族の意思を聞き取り、寄り添ってお話をされており、安心感が得られると思った。

・ボランティアが毎日来苑しており、患者さんや家族の気分をやわらげていると感じ、必要性・重要性を再認識した。ボランティアの人数、種類などの多さにも驚いた。行事もボランティアが行っており、病院職員は調整などはあるものの患者さんに集中できるのがよいと思った。

・デスカンファレンス(死後、退院後)というものがあり、「あのようにすればよかった」などの思いもある事もあるが、デスカンファレンスを行い次につながるための(自分たちの頑張ったこと、こうしたケアはよかったなど)振り返りのカンファレンスを行い、頑張りにしているというのが印象的だった。

外旭川病院での研修はとても参考になり、貴重な研修でした。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・まよめの講習会でアンケート結果を共有する際に、**実名を可とする**もしくは**匿名を希望する**をお示しください  
(**実名を可とする** / 匿名を希望する) いずれかに

## 氏名（フリガナ）

夏井 李奈（ナツイ リナ）

## 所属施設名

外旭川病院 ホスピス

## 職種

看護師

## 研修を受けた施設

能代厚生医療センター

## 研修日

令和元年 11 月 20 日

## 研修参加の動機・目的

緩和ケアへの取り組みを勉強する

## 研修の実際（内容や流れ 等）

緩和ケア認定看護師と共に緩和ケア回診を見学する

## 研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと 等）

11 月 20 日、緩和ケア実地研修の為、能代厚生医療センターの緩和ケア回診を見学させていただきました。

週に 1 回の緩和ケア回診では、認定看護師、医師、薬剤師、栄養士、理学療法士、病棟看護師が参加して行います。当日の対象患者様は 5 人でしたが、年間 150 人程、緩和ケアの介入があるそうです。入院時にスクリーニングを行い、希望された方や介入が必要とされる方に介入します。この入院時スクリーニングは、患者様に緩和ケアの存在を周知してもらうためにも有効な手段だと感じました。

能代厚生医療センターは、地域の癌拠点病院という役割を持っており、その為に癌の治療をしている患者様も沢山います。なので、B S C の方だけではなく、治療中の方や在宅へ退院される方へも緩和ケアを提供しています。様々な状況におかれた患者様に対して、一つ一つのケースで最適なケアが出来るように皆さんで考えているのが伝わってきました。各職種がそれぞれの立場から意見を出し合い、職種間の垣根なく話し合いがもたれている事に、皆さんの熱意を感じました。また、緩和ケア回診はコンサルテーション型を取っているため、回診ではアドバイスをを行い、実際に指示を出すのは主治医との事でした。ここでも、病棟の看護師が橋渡し役となり、実際の患者様の情報を回診時に伝えてもらったりと、大きな役割を担っていました。やはり、実際に患者様にケアをする看護師からの情報は大切です。大きい病院になればなるほど職種間の連携は難しくなると思っていましたが、それをカバーする看護師さんの存在が、とても頼もしいと思いました。

また、医師もじっくり患者様の話を聞いており、緩和ケア回診自体が、各自の通常業務の時間を割いて行っており、時間がない中でも患者様の声に耳を傾けようという誠実さがありました。

今回は、半日という短い時間でしたが、スタッフの皆さんのチームワークの良さを見ることが出来ました。コンサルテーション型の介入の利点や難しい点もあると思いますが、病院の地域での役割を担いつつ、緩和ケアを進めていくスタッフの皆様の姿勢は素晴らしいと思いました。

この度は、研修を受け入れて下さった能代厚生医療センターの皆様、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・**まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください**  
(**実名を可とする** / 匿名を希望する) いずれかに

---

## 氏名（フリガナ）

林 次男（ハヤシ ツギオ）

## 所属施設名

大潟村特別養護老人ホームひだまり苑

## 職種

事務

## 研修を受けた施設（複数ある場合は1施設1シートでお願いします）

能代厚生医療センター

## 研修日

令和元年12月4日

## 研修参加の動機・目的

医療機関で行われている緩和ケアを知るため。参考目的にて。

## 研修の実際（内容や流れ等）

定期的に行われている家族会見学、回診→カンファレンス

## 研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等）

施設で行われている見取りとは違い、疼痛・苦痛を取り除く目的で多職種チーム（コンサルテーション型チームケア）を編成。打合せ（データを合わせた情報共有）→回診（主に問診）→カンファレンス（治療方針の変更等）の流れであった。施設の見取りではDIVを最期まで希望するご家族が多い。皮下輸液についての情報は非常に有難いと感じた。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

- ・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

-----  
氏名（フリガナ）

所属施設名

職種

薬剤師

研修を受けた施設

秋田厚生連 能代厚生医療センター

研修日

研修参加の動機・目的

緩和ケアが実際どのように行われているか、多職種の方がチーム内でどのように連携しているかを学びたかったから

研修の実際（内容や流れ 等）

緩和ケアチームでの回診に同行、その後のカンファレンスへの参加

研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと 等）

医師、看護師、薬剤師、栄養士等様々な職種の方々と構成されたチームで、それぞれが対等に意見を述べたり情報交換したりする姿が印象的でした。

患者様やご家族を中心に、チーム内で今後の方針などについて共通認識を持ち取り組むことが、より良い医療やケアを提供するために重要だと感じました。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

- ・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

-----  
氏名（フリガナ）

所属施設名

職種

看護師

研修を受けた施設（複数ある場合は1施設1シートをお願いします）

大曲厚生医療センター

研修日：

研修参加の動機・目的

緩和ケア分野を学び今後へ生かすため

研修の実際（内容や流れ等）

朝のミーティング後すぐに亡くなられた患者様がおり、お見送りをさせていただきました。

研修先の施設ではいちスタッフとして扱って下さり、デスカンファレンスや回診、緩和ケアチームカンファレンス等、様々な活動へ参加させていただきました。

研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等）

働いている施設に緩和ケア病棟がなく、終末期を専門とした看護を学びたいと見学させていただきました。

最期まで本人らしさを尊重し、見送りも私服であることなど、とても新鮮で良い刺激を受けました。

今後の学びに生かすことのできる良い機会であったと感じています。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・**まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください**  
(**実名を可とする**) / 匿名を希望する) いずれかに

---

## 氏名（フリガナ）

遠藤 秀美（エンドウ ヒデミ）

## 所属施設名

(株)ファーマックス 羽後調剤薬局

## 職種

薬剤師

## 研修を受けた施設

平鹿総合病院

## 研修日

令和元年 10 月 25 日

## 研修参加の動機・目的

以前居宅療養管理指導で自宅に伺う患者様に緩和ケアを実施されている方がおり、病院での緩和ケアチームの活動について知りたいと考えたため

## 研修の実際（内容や流れ 等）

### 研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと 等）

実際に研修時にまわったのは 7 名でしたが、多い時には 1 日で十名以上に対応することもあるとのことで驚きました。1 人 1 人への対応のための事前カンファレンスも病状やリハビリ、使用器具、食事のとり方など痛みを総合的に緩和するための手立てをチームで提案し検討する様子が体験出来て有益でした。

薬局薬剤師は病気と薬、あるいは痛みと薬、その副作用等に注目しがちになりますが、患者さまのいままでの生活スタイル、バックグラウンド、これからどうして暮らしていきたいかなどへの配慮、思案を巡らすことが必要であると考えられました。緩和ケアが必要な方は必ずしも終末期の方だけではないということも知ることができました。

現在当薬局では居宅療養管理指導を実施している患者様はおりませんが、山間部を含む羽後地域では必要な患者さまが多くなると考えています。その中には緩和ケアの必要な方もいらっしゃると思われます。

今回の研修で得たことを生かせるようにしていきたいと考えます。分からない事があった際、ご指導お願いします。



# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

・**まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください**  
(**実名を可とする** / 匿名を希望する) いずれかに

---

## 氏名（フリガナ）

林 次男（ハヤシ ツギオ）

## 所属施設名

大潟村特別養護老人ホームひだまり苑

## 職種

事務

## 研修を受けた施設（複数ある場合は1施設1シートでお願いします）

介護老人保健施設くらかけの里

## 研修日

令和元年10月7日

## 研修参加の動機・目的

当施設でも見取りを行っているため、参考目的にて。

## 研修の実際（内容や流れ等）

施設設備の見学、概要、医療体制

## 研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等）

月1回以上のケアプラン会議にて抽出されたニーズ・課題についての支援策を策定。また転倒リスク、デクビ、リハビリ等の委員会がある。口から食べる楽しみについて追及しているようであった。見取りについてはご家族の意向を考慮しながらDIV、O2等管理している。

# 緩和ケア実地研修 研修参加アンケート

アンケートの送付先：秋田県緩和ケア研究会事務局  
akita-kanwa@akita-kanwacare.com

- ・まとめの講習会でアンケート結果を共有する際に「実名を可とする」または「匿名を希望する」をお示しください  
(実名を可とする / 匿名を希望する) いずれかに

-----  
氏名（フリガナ）

所属施設名

職種

介護士

研修を受けた施設（複数ある場合は1施設1シートでお願いします）

老人保健施設 くらかけの里

研修日

研修参加の動機・目的

緩和ケアに興味がある

研修の実際（内容や流れ等）

- ・施設見学
- ・緩和ケア、看取りの体制、苑での対応の説明、質疑応答

研修を終えての感想（気付いたこと、学んだこと、有益だったこと等）

- ・緩和ケアの対象が現在いないという事だったが、老人施設での看取りについての体制を学べてよかった。
- ・資料や口頭ではあったが医師や看護・介護・その他の連携がとれており、当施設に参考になる部分や取り入れるべきことがあった。
- ・研修内容（予定）にケアプラン会議見学・各職域見学・余暇活動とあったが、それはなかったため残念だった。
- ・職種や経験年数によっても研修内容を変えてもよかったのではないかと思います。聞きたいことは教えてもらいよかった。
- ・くらかけの里では施設での緩和ケアについて考えさせられました。看取りについても、取り入れることが出来ることは当施設でも行いたいと思います。